

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	長谷川 大悟
担当業務	広報業務全般（会報誌発行事業、ホームページ運営管理事業、理学療法広報啓発事業、障害者助成事業、理学療法関連情報配信事業、広報企画運営事業、管理・入会促進等）、代議員ネットワーク支援部会、全国リハビリテーション医療関連団体協議会、報酬改定（介護・障害福祉）対策強化推進部会、訪問リハビリテーション振興委員会、リハビリテーション専門職団体協議会報酬委員会、第 60 回日本理学療法学術研修大会、前記に附帯又は関連する調査・調整等

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
7 月 1 日		業務執行理事会	オンライン
7 月 1 日		会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
7 月 5 日		理事会	日本理学療法士協会会館
7 月 5 日		役員勉強会	日本理学療法士協会会館
7 月 8 日		介護報酬改定に向けた検討会（座長レク）	オンライン
7 月 9 日	○	訪問リハビリテーション振興委員会	オンライン
7 月 15 日		障害者分野・障害福祉サービス等報酬改定に向けた検討会（座長レク）	オンライン
7 月 16 日		障害児分野・障害福祉サービス等報酬改定に向けた検討会（座長レク）	オンライン
7 月 16 日		訪問リハ振興委員会機能担当者会議	オンライン
7 月 22 日		障害福祉サービス等報酬改定に向けた意見交換会（障害者）	オンライン
7 月 25 日		広報企画課会議	日本理学療法士協会会館
7 月 26 日		理事懇談会	日本理学療法士協会会館
7 月 26 日		学会運営協議会	日本理学療法士協会会館
7 月 28 日		日本理学療法学術研修大会準備委員会	オンライン
7 月 28 日	○	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
7 月 29 日		障害福祉サービス等報酬改定に向けた意見交換会（障害児）	オンライン
8 月 8 日		会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
8 月 18 日		介護報酬改定に係る会議	日本理学療法士協会会館
8 月 18 日		広報企画課会議	日本理学療法士協会会館
8 月 20 日		訪問リハビリテーション振興委員会	オンライン
8 月 25 日	○	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
8 月 26 日		令和 9 年度報酬改定（介護・障害福祉）対策強化推進部会	オンライン
9 月 1 日		広報媒体作成作業部会	オンライン
9 月 4 日		介護報酬改定に向けた検討会（座長レク）	オンライン
9 月 6 日		理事懇談会	オンライン

9月9日		介護報酬改定に向けた検討会	オンライン
9月12日		会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
9月13日	○	日本理学療法士連盟役員との会議	オンライン
9月17日		訪問リハビリ振興委員会機能担当者会議	オンライン
9月18日		障害者テレワーク雇用に係る会議	オンライン
9月19日		広報企画課会議	日本理学療法士協会会館
9月19日		広報企画課会議（出版社面会）	日本理学療法士協会会館
9月19日		障害福祉サービス等報酬に係る会議	オンライン
9月22日	○	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
9月24日		業務執行理事会	オンライン
9月26日	○	ウェルフェアフォーラム	ホテルアジア会館
所感	【業務執行理事会】 四半期の業務報告において、所掌する広報企画関連事業（会報誌発行事業・理学療法関連情報配信事業・広報企画運営事業・障害者団体助成事業・ホームページ運営管理事業・会報誌発行事業・理学療法広報啓発事業・入会促進に係る事業）に関して年間計画に則り、滞りなく業務を遂行していることを報告した。本会の更なる飛躍に努めるべく広報担当常務理事として、職務執行に全力を尽くす覚悟である。 【理事会】 2024 年度入会対象者向けに運用している LINE について、アンケートを実施し、その集計結果を報告した。 会員マイページ専用アプリの運用も含め、SNS、メールの開封率、ホームページ閲覧数など定期的なアクセス解析を実行していく。会員や国民にとって有益な情報をリアルタイムに配信できるよう各種広報媒体を通じて会員に届く配信に注力する。 【広報企画課会議】 障害者団体助成事業では委員を選定し、10 月からの公募に向け実施要項を見直し準備を進めた。写真コンテストにおける次年度実施要項も見直し、理学療法の更なる普及啓発に努める。また、「ファンマーケティング」を今期のキーワードとして取り組んでいく。都道府県士会広報担当者を対象に、「広報担当者会議」を開催し、協会と士会の更なる連携強化を図り、理学療法の普及啓発に努める。 【会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング】 本会担当課と定例会議を開催し、隔月で発行する会報誌については、会員にとって有益となるようまた楽しんでもらえるような企画を協議している。加えて、紙面配布から電子化に向けた取り組みにも着手し、経費の削減を視野に会員に届く広報手段を模索していく。 【広報媒体作成部会】 理学療法士は、人生のあらゆる場面でサポートできる職種であり、国民に広く知っていただくためのツールの一つとして、今年度中に Enjoy Your Life（ウィメンズシリーズ）および Enjoy Your Life（シニアシリーズ）の発刊を目指し、議論した。すでに発刊済みである Enjoy Your Life（子どもシリーズ）および Enjoy Your Life（大人シリーズ）の活用とともに普及に努める。 【令和 9 年度報酬改定対策強化推進部会】 国の動向を注視し、協会が果たすべき役割を担い「患者・利用者本位」であることを根幹に据え、制度政策の社会実装へ向けて鋭意取り組んでまいる。		

【障害福祉サービス等報酬に係る検討会】

今期、担当理事として職務に努める。障害者・障害児についてそれぞれ会議体を区分けし、より詳細な意見の抽出に努める。専門職としての評価を求める論拠として必要性、有効性、効率性の 3 つの軸を念頭に、現場の意見が制度政策へと反映できるよう最善を尽くしてまいる。

【介護報酬に係る検討会】

部員の一人として、多角的な視点から意見を出し、現場に沿った要望となるようまた、会員の声が保険収載へと繋がるよう努力する。

【訪問リハビリテーション振興委員会】

今期、副委員長として悲願である「訪問リハビリステーション」の開設に向け、大きく舵を切りたいと考えている。開設に至るまでには思いや願いだけでは叶わず、主体的に活動を展開し、一丸となって知恵を出し合い議論を深め、合意形成に基づく提案を目指す。その上で他団体等への理解を求め、要望を俎上に挙げる努力を続けていく。

【全国リハビリテーション医療関連団体協議会】

外部委員として本会役員の立場で報酬改定に係る議論に臨んでいる。他団体との協議を重ね、現場で行っている理学療法士の介入が報酬に結び付いていないことや、その効果改善の実績を示し、医療費の削減や対象者の重度化防止に寄与することを示していきたい。

【理事勉強会】

公益法人の役員として、格式高い本会であるべく理念を肝に据え、任期を全うする覚悟である。他方、協会の社員である代議員に対してもその役割や位置づけに対して理解を深める必要があり小生が担当する代議員ネットワーク支援部会を通じて、協会社員として代議員の位置づけなど意思疎通を図っていきたいと考える。

【理事懇談会】

理学療法週間を理学療法月間に改め、更なる普及啓発に努めるべく提起した。今後、事務局長会議、組織運営協議会を経て最終的には理事会決議になるが、歴史のある催事に対して都道府県士会も関わることから丁寧かつ慎重に議論を展開していき、時代に沿った形での運用を目指す。

【60 周年記念誌への執筆】

「報酬改定の意義と理学療法士の役割」および「理学療法士の災害支援活動」の 2 つのタイトルにて、これまで小生が関わってきた報酬改定に関するもの、災害対策に関するものを執筆した。

【その他、団体会合・面会等】

第 3 回ウェルフェアフォーラム

厚生労働省高官との質疑を交え、次期報酬に係る示唆をいただいた。これらを基に担当する各種部会等での発言要望に活かしてまいる。

出版社との面会協議

新たな広報手段の一手として、これまでにない方法で広報活動が展開できないか協議した。新しいことに取り組むとき批判的な意見もあるが、進む前から悩まず、行動することで変えられる未来を信じて取り組みたいと考える。

	<u>日本理学療法士連盟役員との会議</u> 今般の参議院選挙の結果を受け、次なる目標に向け意見交換をした。本会が掲げた政策の実現には、平時からの政治的活動が欠かせない。理想や願いを語るだけでは社会は動かない。次代の協会像を確立し、政策を社会実装へと結びつけるために行動します。 その他、前期に関連する各種会合において、事前調査および調整等を行った。
報告日	2025 年 10 月 20 日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。